

年中だより

担任 佐藤 真奈美



えがお



紫陽花の花が少しずつ色づき始め、梅雨の気配を感じる時期となりました。晴れたり雨が降ったり、天気の変り変わりが多いこの時期は室内や戸外に関係なく汗をたくさん掻き、日々いろいろな遊びを楽しんでいます。こまめに水分を補給したり、Tシャツに着替えたりすることが習慣になるように支援していきたいと思いますので、ご家庭でも声掛けをしていただけると幸いです。

【6月のねらい】

- ・様々な友達と関わりながら、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう
- ・梅雨ならではの自然に関わって、遊ぶことを楽しむ



5月の保育より

不思議がいっぱい! 感触遊びからお店屋さんへ

最近のひばり組は、手先をたくさん使った感触遊びに夢中です。この前は、粉から自分たちで捏ねて「小麦粉粘土」作りに挑戦しました。水の量で変わるモチモチ、ベタベタした感触を味わいながら、素敵な作品がたくさん出来上がりました。ところが数日経つと、「先生、なんか変な臭いがする…」「色が変わってる!」と大発見。小麦粉だからカビが生えるという自然の変化に、みんな「えーっ!」とびっくり!!でも、ここで終わらないのがひばり組さん。「小麦粉はやめて、違う粘土にしよう」と自分たちで話し合い、次は紙粘土を使ってみることにしました。「これは捏ねやすい!」と、今度はカビが生えない素敵なお菓子やアイスクリームが大量に完成!「これでお店屋さんを開きたいな」「キッチンカーを作りたい!」と、今はみんな段ボールを囲み、理想のキッチンカーを組み立てています。

ハブニングをきっかけに、自分たちで考えて遊びを発展させていく姿に大きな成長を感じています。

ひばり組の新しいお友達! 「けらちゃん」がやってきた!

先日、砂遊びをしていた子どもたちが「先生、この虫なーに?」と面白い虫を発見しました。調べてみるとなんと「オケラ」!みんな一目惚れで「飼いたい!」と大盛り上がりです。「命を大切にする」とお約束をして、ひばり組で飼育することになりました。名前はみんなで「けらちゃん」と名付けました。オケラは湿った土が大好きなので、毎日お当番さんが霧吹きでシュッシュと土を湿らせてお世話をしています。雑食でミミズやダンゴムシも食べると知り、子どもたちは興味津々!普段は土の中に隠れていますが、時々そーっと掘り起こしては「元気かな?」と嬉しそうに観察を楽しんでいます。



感動の旅立ち! アゲハ蝶の「ナミちゃん」大空へ

5月26日の朝、ひばり組で嬉しい奇跡が起きました。前日の帰り際まではサナギだったナミアゲハが美しい蝶に変身していたのです!見つけた子どもたちは「あ!蝶々になってる!」と大驚き。以前から「羽が傷つくと飛べなくなっちゃうから、すぐ逃がしてあげようね」と話し合っていたのを、みんなしっかり覚えていました。子どもたち自ら「早く逃がしてあげなきゃ!」とはと組さんやつばめ組さんにも声をかけ、みなでお別れ会をすることに。「ナミちゃん」と名付けられた蝶は、最初なかなか飛び立たず、子どもたちは「まだひばり組にいたいのかな?」「飛ぶ練習中かも!」とじっと見守っていました。やがて大きく羽を広げて大空へ飛び立つと、みんなで「バイバイ!」といつまでも手を振って見送っていました。

